

シェアワークスペースを活用した「関係人口」獲得モデルの構築

特定非営利活動法人NPOサブライズ

地域課題 と 関係人口 ニーズ

<地域の課題>

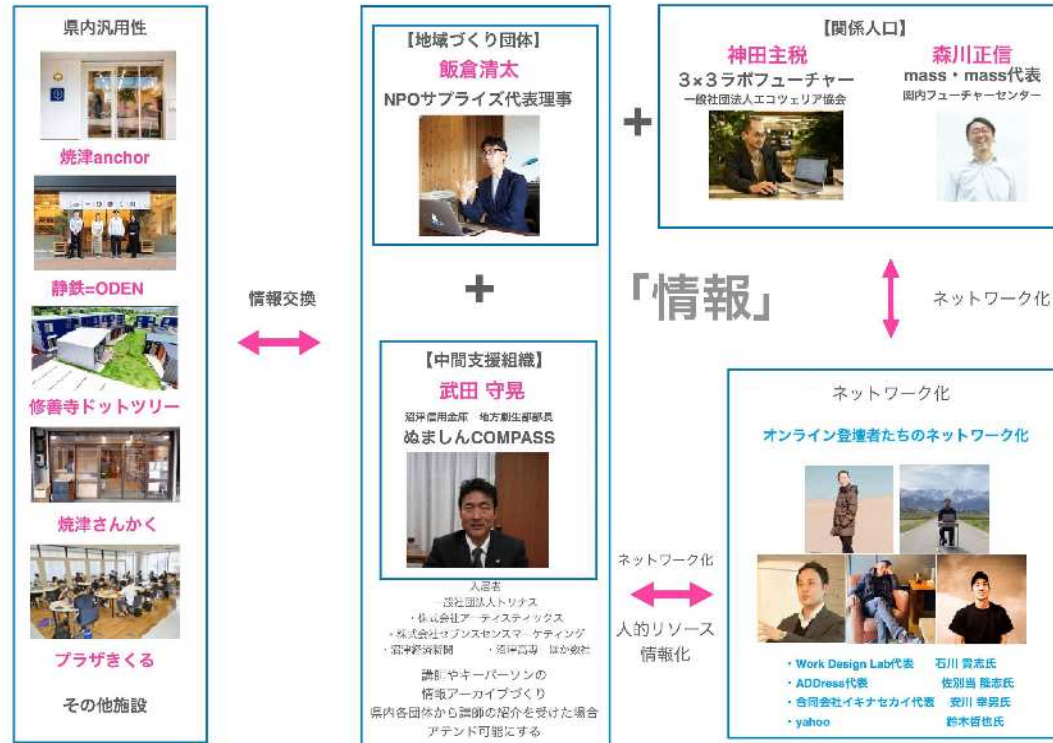
- 地域の概要: 沼津市を中心とした県東部エリア
- 地域の課題: 人口減少と少子高齢化の進展。従来地域が有していた交流機能や生産力等が低下し、都市全体の活力低下が懸念されている。

<関係人口のニーズ>…「ビジネス関係人口」に注目した

- 「テレワーク」「ワーケーション」のニーズの高まり
- コロナ禍で進んだ「副業」の動き
- 首都圏の企業が地域と関わるには人と人との繋がりときっかけが必要

モデルの 概要

- 県内の拠点「ぬましんCOMPASS」(沼津市)と首都圏のシェアワークスペース「3×3Labo.future」(大手町)、「mass×mass関内futureセンター」(横浜)を繋いでプラットフォームを作り、webセミナー、交流イベント、相互drop-in利用を通じて関係人口を創出する。
- キーパーソン(施設運営者、入居者、セミナー講師)をネットワーク化し、新たな事業展開とさらなる関係人口創出を図る



主な成果

- 関係人口の獲得…セミナー講師陣及び参加者(セミナーリーチ数10, 147)、COMPASSへの来訪者(本事業関連)
- モデルの仕組みとして有効…焼津で同様のセミナースタート。今後も様々な拠点を繋いだセミナーを開催予定
- 地域課題の解決…拠点同士のノウハウ移転による地域課題解決、新しい拠点(COMPASS御殿場)の創出

R3年度
モデル

地域課題を題材とした企業研修プログラム導入拡大のためのトライアルプログラム 株式会社machimori

地域課題
と
関係人口
ニーズ

<地域の課題>

- 高齢化率、空き家率の高さなど、熱海は日本の50年先に行く“課題先進地”と呼ばれている。
- さらに、メイン産業である観光業がコロナ禍で大打撃を受けているため、観光客以外に関係人口を増やす必要がある。

<関係人口のニーズ>

- 都会の企業の、働き方改革や地方への関心が高まっているが、従業員が実際に地域の課題に触れる機会を求めている。
- 普段の業務を離れて学ぶ越境学習を体験し、社内でより活躍できる人材を求めている。

モデルの
概要

- 関係人口となる都会の企業にとっては、地域で継続的に課題解決を実践することで、次世代リーダーの育成を目指す。関係人口を受け入れる地域にとっては、地域や社会の変化を目指す。
- 地域で課題解決に取り組むプレイヤー(共創パートナー)に、受講者が挑む課題を提供いただき、受講生と共創パートナーでチームを組んで、「中心市街地再生」「防災」をテーマに課題解決に挑んだ。



主な成果

- 「本プログラムで取り組んだ地域・課題への関心が高まりましたか」というアンケートにおいて、全員が「とても高まった」と回答した。取り組んだ社会課題が自分事になり、自身のフィールドでもチャレンジしたいという声が集まった。また、人材育成効果として、課題解決手法を学習したり、自分に向き合うことを通じて自身の強み・弱みを再発見したり価値観が問い直された。
- 首都圏の企業へのアプローチ方法として、複数の新たな手法を実施し、効果的な手法(モデル)を創出した。運営においては、キックオフMTG(研修)や、週次でのMTGを通して、吉原宿へ地域コーディネートのノウハウ移転を実施した。その結果、一部、吉原宿が自走してコーディネートを行った。
- 本プログラムで上がった提案を住民が主体となって進めるため、地域でプロジェクト化の動きが進展し、継続的に議論が進んでいる。また、受講者(首都圏の企業人材・関係人口)だけではなく、それを受け入れた地域側(共創パートナー)にとっても学びがあったという声が集まった。

R3年度
モデル

静岡県に山村留学を！～倉真地区の魅力を活かした関係人口拡大の取り組み～

倉真地区まちづくり協議会

地域課題 と 関係人口 ニーズ

<地域の課題>

- 近年の急速な人口減少や高齢化による
- ▶ 山林や農地の荒廃化や倉真小児童数減少による存続問題
- ▶ コミュニティ活力の減退

<関係人口のニーズ>

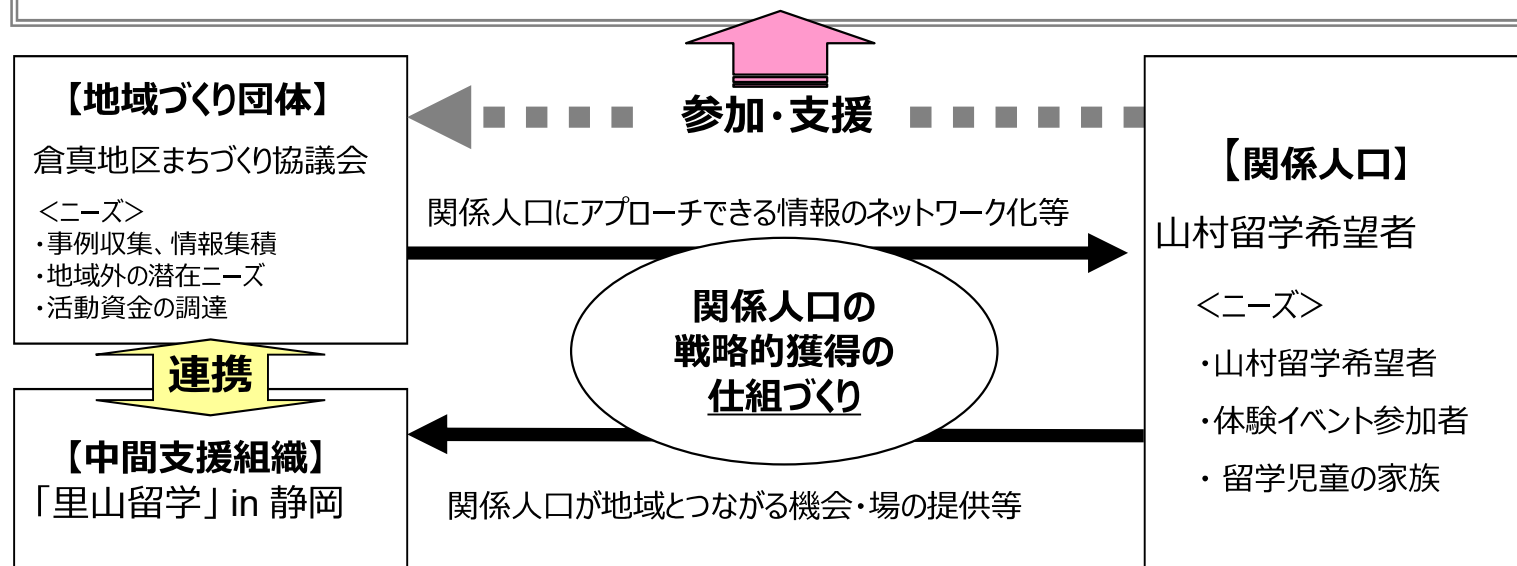
- ▶ 自然が好きで楽しそう、都会ではできない体験をさせたい、親と離れて暮らしてみたい、新天地で頑張りたいという山村留学参加希望者のニーズ
- ▶ いきなり山村留学(長期)へはハードルが高いという体験イベントへの参加者ニーズ
- ▶ 週末イベントや参加児童の保護者同士の情報交換など、地域内に転居する家族のニーズ

モデルの 概要

地域外の親子を対象に、倉真地域の地域資源の強味を活かした里山留学の受け入れを目指す

- ・倉真地区における里山留学受け入れの啓発活動
- ・長期(年単位)受け入れの前段階となる短期滞在イベント(地域見学会)を実施
- ・次年度以降の通年留学の実現に向けた体制づくりを行い、知見を県内に水平展開

<成果イメージ> 関係人口の参加・支援による地域づくり活動の発展・活性化



主な成果

- ・地域体制整備とし、住民対象の説明会、ワークショップ開催を重ね、ノウハウや知見を蓄積した、今後も継続していく
- ・知見をもとに、実行委員会を発足し、12月に一日地域体験会を実施、県内複数団体より問合せあり
- ・中間支援組織を介し、地域の強味・魅力を再発見、地域内の世代や年代を超えた交流が活性化した

地域課題
と
関係人口
ニーズ

<地域の課題>

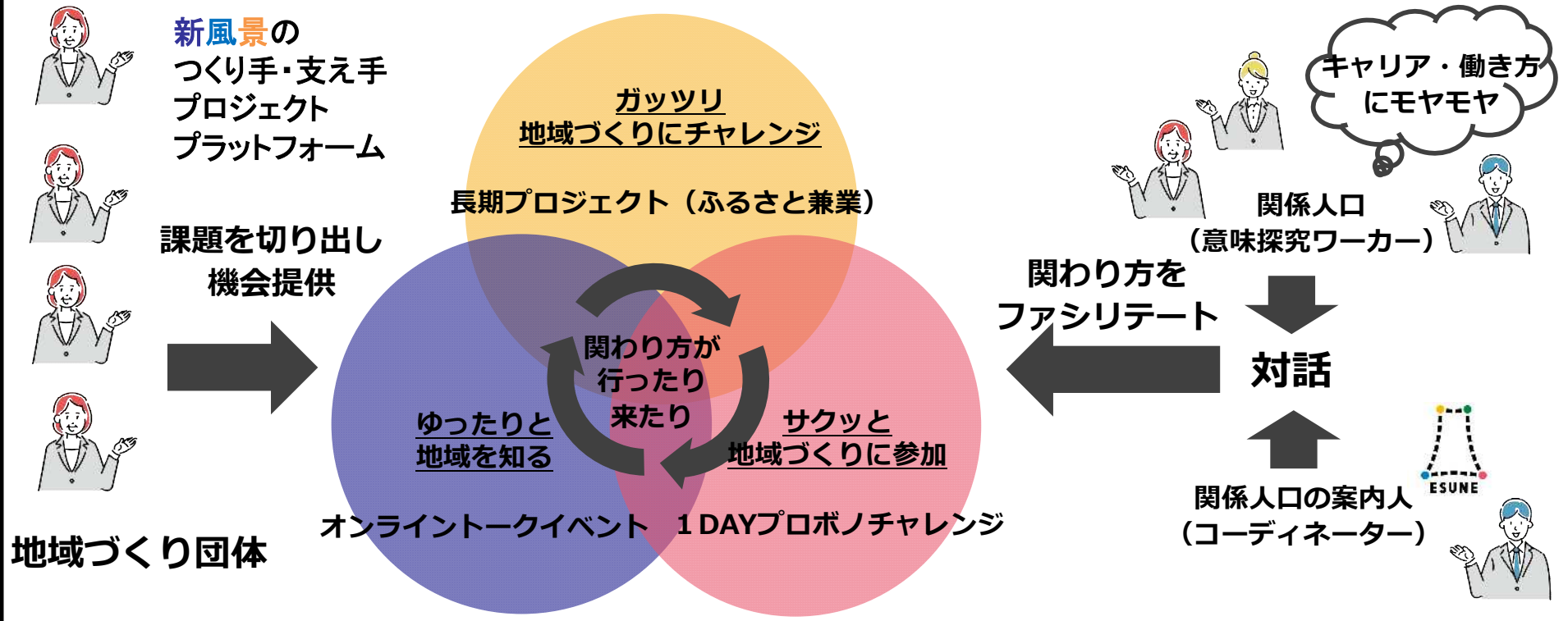
- 地域の概要
静岡県内全域の地域づくり団体
- 地域の課題
NPO・地域団体と地域に関わりたい意向を持つ兼業・プロボノ人材の
出会い方、関わり方、相互利益を生むベストなマッチングを目指す。

<関係人口のニーズ>

- 首都圏からの地方での兼業・複業ニーズの高まり
- 自分自身のこれからの生き方・働き方などの意味を模索し、
挑戦と内省をする働き手＝意味探求ワーカー

モデルの
概要

<成果イメージ> プログラムが有機的に繋がるプラットフォームと案内人となるコーディネーターとの対話



主な成果

- ・面談による棚卸、チームビルディング、受入団体の働きかけの促し方などコーディネートノウハウの形式知化
- ・長期・1Day・オンライントーク/コミュニティの活用で多様な関わり合いを創出
- ・関係性の質が深い関係人口は継続的な参加が見られ、今後も連携の可能性ができた。

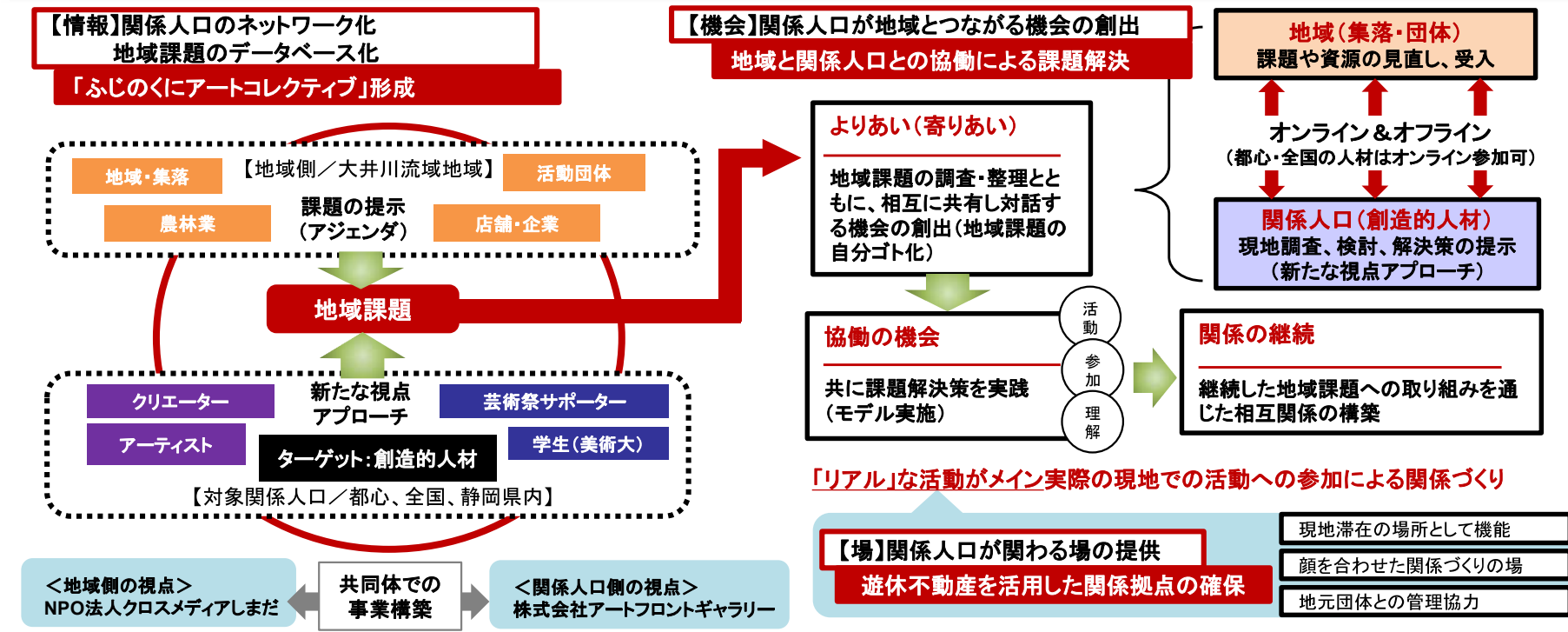
地域課題と関係人口ニーズ

<地域の課題> 島田市及び川根本町、大井川鉄道無人駅から広がる集落を主な地域として設定。高齢化、地域保全、コミュニティ維持の課題を有し、担い手不足に直面している。同地域では「UNMANNED無人駅の芸術祭／大井川」が2018年より開催され、芸術祭を契機とし外部人材の受け入れ機運の醸成がされつつある。

<関係人口のニーズ> アーティスト等は、コロナ禍において表現の機会の減少により、新たな表現の場を地方に求めている。美術大学生、芸術祭サポーターは、全国的な文化的ツーリズムの需要の高まりとともに、芸術祭を通じた地方との関わりを求めており、二拠点生活の新たな働き方や地方移住のきっかけとなっている。

モデルの概要

芸術祭開催による関わりが生まれた「創造的人材」を軸に、通年において「地域づくりの担い手の確保」を行う。創造的人材が関わることにより、既存施策ではなく「地域課題への新たな視点」による課題解決を目指す。



主な成果

「地域コレクティブART DROPS」を設立し、公式サイトにて創造的人材の集約を展開させた。地域課題においてはつながりを活かした集約を行い、モデル実施を展開した。様々なアプローチで解決に向けて取り組むことができた。また、関係人口と地域との交流及び滞在の場として「関係拠点」の確保ができた。翌年度以降、アトリエ兼ゲストハウスとして、関係拠点がより強化されていく基礎を作ることができた。